

デジタルドリル×ルーブリックで学びの幅を広げ、主体的な学びを支援



静岡市立南部小学校

創立 昭和44年

学級数 15

児童数 371人

静岡市立南部小学校は、創立54年の歴史ある学校だ。学区内には、以前は社会科のどの教科書にも載っていた登呂遺跡があり児童達は普段から歴史に触れた生活をしている。

そんな南部小学校では、GIGAスクール構想で子ども達1人1人に配備された Chromebook が積極的に活用されている。朝学習・授業中・放課後など様々なシーンで活用しており、ICTが教具ではなく文具として扱われている。

今回は、子ども達が自身の学習に適した“方法”を自身で選択して学びを深めていく授業を見学し、同校 浅井公太教諭にお話を伺った。（4年生算数：小数の足し算）

✓ 授業の流れ

導入

- 本時の学習課題を確認する。
小数の足し算についてもっと考えよう
- 教科書の問題をみんなで解く。
- 小数の足し算について指導し、まとめまで行う。

展開

- 自分が今日、どのように学習をするかの目標を設定させる
 - 自分の力になる学習方法を、子ども達自身で見つけさせるために「何を使って」「どのように学習する」かをルーブリックを交えて選択させる。
- **【児童が設定した課題】**を実施
 - 設定した学習内容、目標に沿って自分たちで学習を進める

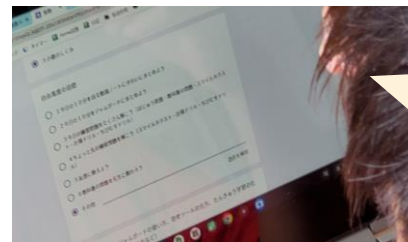
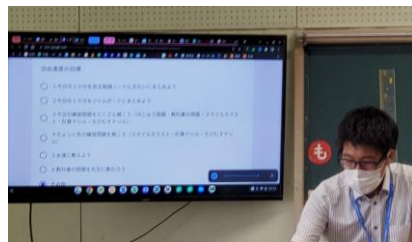
まとめ

- 今日の学習についての振り返りと、設定した目標の達成度を Google Forms に記入させる。

✓ スマイルネクスト活用ポイント

児童が課題を設定する学習で、学びを深める手段の1つとしてスマイルネクストを活用。先生が強制するわけではなく、児童が主体的に選択し学ぶ。

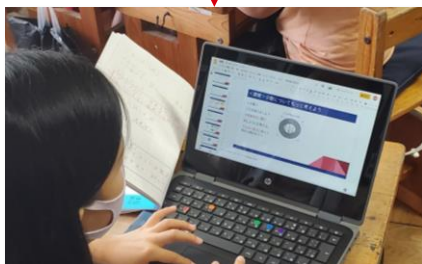
㊦ 学習の目標と課題を自分で決める



【目標と課題】

- 1: 今日の10分を自主勉強ノートにまとめよう
- 2: 今日の10分をジャムボードにまとめよう
- 3: 今日の練習問題をたくさん解こう
(補充問題・教科書の問題・スマイルネクスト・計算ドリル・ちむすびドリル)
- 4: ちょっと先の問題を解こう
(スマイルネクスト・計算ドリル・ちむすびドリル)
- 5: 友達に教えよう
- 6: 教科書の問題を先生に教わろう

✎ 学習法は人それぞれ



スライドに学習内容をまとめる子



スマイルネクストで学ぶ子



教えあいながら学ぶ子

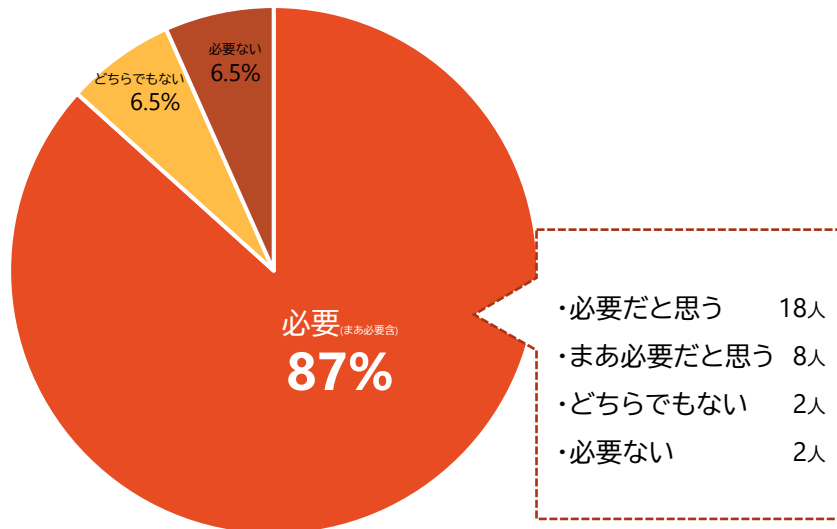


教科書の問題を解く子

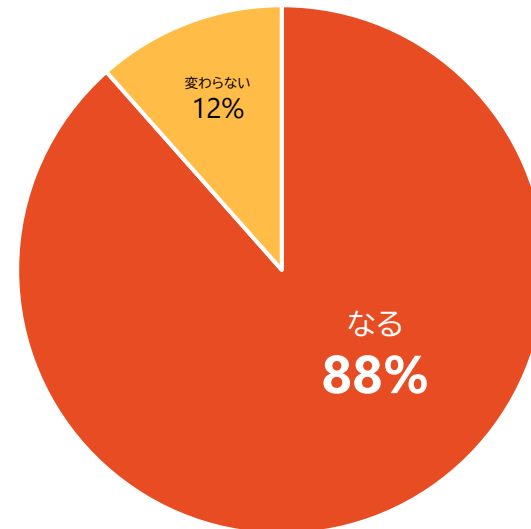
✓ スマイルネクストを使った子ども達へのアンケート (静岡市立南部小学校 4年1組29名)

約9割がスマイルネクストを必要だと感じています。

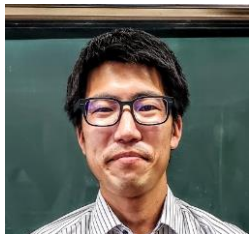
授業でスマイルネクストは必要だと思いますか？



学習がより理解出来るようになりますか？



実践者コメント 『教科書準拠と直感的な操作性が学びに最適』



静岡市立南部小学校
浅井 公太教諭

スマイルネクストの教材は、教科書準拠しているのが圧倒的に良い点です。4年1組で取り組んでいる“児童が自ら課題を設定する学習”との親和性が高いと考え、主体的な学びを深める選択肢の1つとして活用しています。

スマイルネクストを使う前は勉強に気持ちが向かなかった子が、自分から学習をするようになりました。操作性もシンプルで迷うことがないので子どもたちの学習を妨げません。特に、問題を解き始めるまでのタップが少なくて助かります。主に知識・技能の定着を図る場面での活用が効果的だと思います。持ち帰りの宿題や朝学習などは、いきなり授業で使うよりも気軽に使い始められるのでおすすめです。



スマイルネスト

小中学校向け学習クラウド